

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 21.4.7 第 171 回国会第 7 号

4 月 7 日（火）第 7 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・石破農林水産大臣、石田農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小野次郎君（自民）

- ・農政改革について、農林水産大臣はどのように考えているか。また農政改革特命チームが 4 月前半に「農政改革の検討方向」を取りまとめることとされているが、どのような項目を重点的に検討してきたのか。
- ・生産量の少ない地域ブランド米について、大都市の高級品市場で販売できるよう、行政として支援が必要なのではないか。
- ・太陽光等の未利用資源のエネルギー活用策について農林水産大臣はどのように考えているのか。

石川知裕君（民主）

- ・JAS 法に基づく指示が妥当と考えられる事業者に対し、文書による行政指導に留め、指示・公表を行わない都道府県に、農林水産省は今後どのように対応していくのか。
- ・JAS 法上の罰則は、食品衛生法など他の法律に比べて軽いと思われるが、農林水産省はどのように評価しているのか。
- ・参議院農林水産委員会で可決された民主党提出の農協法等改正案について、農林水産大臣はどのように考えるか。

川内博史君（民主）

- ・農協関係の金融機関の職員が顧客リストを基に、特定の候補者のポスターの掲示を依頼して回る事例を仄聞しているが、こうした行為は個人情報保護法違反のおそれがあり、事実関係を調査した上で指導監督する必要があるのではないか。
- ・農協が取引関係を利用して選挙活動に必要な名簿の収集や要員の動員を行う行為は、法令に違反しないのか。また、農協の政治活動の在り方として適切なのか。
- ・担い手に施策を集中する観点から、農協法上の農業者の定義を明確化する必要があるのではないか。

菅野哲雄君（社民）

- ・森林の整備・保全の目的で地方自治体が行う独自課税の取組について、農林水産省はどのように評価しているのか。また、国の施策として、こうした森林整備に関する税制を創設することについて、どのような検討を行っているのか。
- ・事故米穀の不正規流通を行った三笠フーズから美少年酒造が取引で生じた売買価格の差額分を裏金として受け取っていた事案について、事実解明は進んでいるのか。また、米トレーサビリティ法案・食糧法改正案により、このような問題に対処できるのか。

2 農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律の一部を改正する法律案起草の件

- ・遠藤委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

3 農地法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 32 号）

- ・石破農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。